

作業報告書（2019年6月26日）

j16434 福原 誠也

【作業内容】

日本語入力について

raspi で日本語入力

【作業項目】

1. 日本語入力について

概要

パソコンにおいて、英文の入力は一般のキーボードでタイプライター同様にタイプすれば入力可能であるが、日本語のように使用文字数が数千を超える言語の文章を入力するには全ての文字に一つのキーを当てはめるキーボードは非現実的であるため、複数のキーの操作で一文字を入力するなどの仕組みが必要となる。**かな漢字変換**: 読みとしてかなを何らかの形で入力しておいて、漢字・かな・英字などの変換候補から選択することで漢字の文字を得る。変換の単位としては、単漢字・熟語・文節・連文節・文章一括変換などがあるが、現在は単漢字や熟語単位の変換は廃れている。

- かな入力: JIS 配列、親指シフトなどの配列のキーボードを用いて直接かな文字を得る。
- ローマ字入力: 日本語以外のキーボード（QWERTY 配列が一般的）でローマ字を入力し、かな文字に変換する。
- 漢和辞典における漢字の引き方を元に漢字を検索していく方式。部首（部首変換）、総画数など。
- 漢字直接入力: 漢字に特定のキーストロークを割り当て、かなを経ずに直接漢字を得ることができるもの。
- 全文字配列: 使用する文字数だけキーを備え、直接入力するシステム。
 - フルキーボード
 - タブレット: タッチペンなどにより文字盤にタッチすることで一文字ずつ入力。初期のワープロ、日本語電子タイプライターに見られる。
- 多段シフト: 1つのキーに複数の文字が割り当てられ、対応するシフトキーを押しながら入力することで目的の文字を入力していく方式。漢字テレックスなどで利用された。
- 手書き入力: ポインティングデバイスの軌跡を文字として認識し、もっとも近い文字を入力する。
- 音声認識: マイクで入力された音を言葉として認識し、漢字かな交じりの文章を返す。

2. raspi で日本語入力

`sudo apt-get install fcitx-mozc` でパッケージをインストール

インストール後再起動し、日本語切り替えキーの設定をしてあげれば終了

【作業時間】

作業報告書（2019 年 6 月 26 日）

j16434 福原 誠也

- ・ 作業時間：30 分
- ・ 報告書作成時間：20 分